

# やけのそよ風



## ネットの危険から子どもたちを守るために

小学生の子どもにスマホやタブレットをもたせる家庭が全国的に増えている一方で、「子どもがSNSで仲間外れにされているようだ」「迷惑メールがたくさん届くようになった」「オンラインゲームで勝手に課金していた」など、子どものネットトラブルが年々増加しています。小学生がSNSで知り合った大人に誘拐されたり、性犯罪に巻き込まれたりする事件の報道もあります。ネットを利用する際には、自分の身を守るための知識や、ネットトラブルの加害者にも被害者にもならないためのマナーを身につけることが大切です。スマホやタブレットをあっという間に使いこなしているように見える子どもですが、ネットの世界に潜む犯罪や悪意を見抜く力はまだまだ足りません。

大阪府警察サイバー犯罪対策課作成の保護者向け「SNSの危険から子どもを守るための広報啓発チラシ」の内容を抜粋して紹介します。

子どものスマホの先、誰とつながっているのか知っていますか？

～「スマホを買い与えて終わり」ではありません！～

### ◆家庭内でルールを決めましょう

「家族のいるリビングで使う」「21時には電源をオフにする」等、家庭内でスマホを使う場所や時間を、子どもと話し合って、ルール化しておきましょう。

### ◆フィルタリングの活用

子どもが違法・有害なサイトにアクセスしないよう機能を制限する「フィルタリングサービス」を利用しましょう。利用設定は保護者の義務です！

### ◆利用状況をチェックしましょう

「誰とどんなやりとりをしているのか」「知らないアプリを入れていないか」等を確認しましょう。親も使い方がわからないアプリは子どもに使わせるべきではありません。

### ◆子どもとコミュニケーションを！

ネット上には、「悪い大人」もいることを伝え、日頃から子どもが被害者となった事件等、具体的な危険について話をしましょう。まずは、何でも話し合える関係づくりを！



子どもがSNSのトラブルを回避するため、特に次のようなルールを守らせることが大切です。

- 名前、学校名、住所、電話番号その他の個人情報を発信しない。
- 自分が言われたら傷つく言葉や、親や第三者に見せられない内容は発信しない。
- 自分の顔や、友達の顔が写った写真は投稿しない。
- 困ったことが起きたら、必ず親に相談する。

多くのSNSでは、子どもが利用する場合、登録時に保護者の同意が求められます。登録時だけでなく、その後の使い方についても保護者がしっかりと責任をもつ必要があります。お子さんは保護者が介入することを嫌がるかもしれませんが、人に見られては困るやり取りをしないのも大切なルールです。また、新聞記事やニュースなどのトラブル事例などを取り上げて、親子で話し合う機会をぜひもってください。

(※裏面に続く)

※カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。

## ～ ネットの危険から子どもたちを守るために ～ （※表面より）

最後に、国立青年教育振興機構が行った調査によると、親子関係に次のような傾向が見られる結果となりました。

- ・子どものインターネットの利用時間が長いほど、親子の会話が少なく、親子で話すことや、一緒にいることが「好き」「とても楽しい」と回答する割合が低い。
- ・子どものインターネットの利用時間が長いほど、「親は自分の話を聞いてくれる」と回答する割合が低い。

SNS が便利に活用できる時代ですが、それ以上に親子のコミュニケーションを大切にしてほしいと思います。



## やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

### 【3年生校外学習（あべのハルカス・あべのタスカル）】7月1日（金）



地下鉄に乗って、あべのハルカスとあべのタスカル（防災センター）に行きました。ハルカスでは、高速エレベーターであっという間に60階へ！グループに分かれ、日本一高いビルから大阪の街のようすを調べました。展望台から見た建物や道路、鉄道、山や川など、ワークシートに記録したり、タブレットで写真を撮ったりしました。お弁当は、「てんしば」で食べる予定でしたが、暑さ対策のため、常盤小学校の講堂をお貸りしました。あべのタスカルでは、ガイドの方のお話を聞きながら、地震、津波、火災などからどのようにして身を守ればよいのか学習しました。震度5強の地震の揺れや火災の煙の怖さも体験しました。気温は高かったですが、子どもたちは午前、午後とよく勉強し、元気に活動した1日でした。

※カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。